

こどもたちと織り上げる

アツラミテ カタチ

新しい形

Vol.2
2022 秋



ふたばこども園
秋を体感して
この時期だけの落ち葉遊び。
赤く色づいた葉っぱを
みんなで浴びたら、
笑顔がいっぱいに。

サクサク軽〜い♪
落ち葉って面白い

社会福祉法人 郡山双葉会

<https://koriyamafutabakai.or.jp>

やまとこども園

やまとこども園 mimi

昭和こども園

鶴舞やまとこども園

はぐみこども園

ふたばこども園

自分が通っていた園は働きやすさ◎



やまこども園 mimi 植田紋加 (24歳)

私は当園の卒園児で、優しい園長先生が遊んでくれたことなど、毎日ワクワクしていた思い出があります。入社すると、いろいろな素材を使った保育に挑戦できるうえ、1年目から有給休暇を14日取得できるなど、オンオフともに充実した日々。子どもたちが一生懸命に取り組む発表会は毎回感動で、保育教諭になってよかったと思っています。



会話が早い職場で自分が目指す保育に取り組んでいます♪

ふたばこども園 葛城梓 (31歳)



2年前にキャリア採用で転職。きれいな園舎で快適に、また頑張り保育教諭に還元されていると実感しながら、自己成長を図っています。リーダー間で情報共有をする場があり、毎日の休憩時には職員同士でおしゃべりも。じっくり子どもと向き合っている言葉がけの余裕があり、子どもが勇気を出す瞬間にも立ち会えました。



育休取得も復職もしやすい環境です!

やまこども園 山下春海 (37歳)

育休を3回取り、子育てのために一度退職しましたが、職員同士で助け合う体制が整っている当園に復職しました。わが子の急な発熱時に休めるのはありがたいですね。子どもたちのキラキラとした目が見られるこの仕事。新しく入社する方には一緒に働く仲間としての役割を伝え、変な気を遣わずに楽しく保育ができるようにサポートしています。



リクルート情報 社会福祉法人 郡山双葉会

こんなこども園です

相談しやすさと個性を生かせる雰囲気が魅力!

昭和こども園 名迫恵 (45歳)

ほかの園から転職して13年目。福利厚生が手厚く、また郡山双葉会が運営する全園の行事内容や遊んでいる様子を紹介するアプリがあり、参考にしながら進められるのがよいですね。型にはまった保育よりも、自由な発想を歓迎! 困ったときは先輩方が親身に相談に乗り、的確なアドバイスしてくれますので、安心して下さい。



令和4年度の新卒・キャリア採用の募集を受付中です。そこで、当法人のこども園で働く先生たちの声をピックアップ。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

地元を離れてもここで働きたい★と思いました



新卒で入社して2年目を迎え、園で楽しかったことを家で話してくれていると聞かされたときにうれしく感じています。入社前には、実際のクラスに入って1日の流れや園の明るい雰囲気を知ることができました。岡山県出身のため、住宅手当が毎月3万円支給されるのは魅力的。興味のある外部研修も受けられ、スキルアップできますよ。

はぐみこども園 間野穂乃花 (23歳)



社会福祉法人 郡山双葉会 DATA

求める保育教諭像は?

子どもの成長を自分のやりがいや喜びに感じられる方や、子どもの成長と自分たちの成長を探求できる方に入社していただきたいと考えています。活躍中の保育教諭からは「子どものチャレンジする姿や達成感に満ちた表情を目の当たりにすると、心からうれしい」「ピアノの練習を頑張っていて、子どもたちとたくさん歌いたい」などの前向き声があがっています。

全国平均と比べると...

例えば、やまこども園とやまこども園mimiの場合。平均勤務年数は9.4年、新卒3年以内の離職率は21.4%で、全国平均よりも長く定着して働く人が多い結果に。育児休暇取得率は100%、有給休暇取得率は79.2%とともに全国平均よりも取得率が高くなりました。平均年齢は34.9歳でフレッシュな職員が多いのも特徴です。 ※2020~2022年のデータです。

働きやすさは?

毎週日曜や祝日、お盆・年末年始を含めて年間休日118日で、有給休暇の取得も推進しています(初年度は14日)。住宅手当(毎月3万円)など各種手当があり、賞与は年2回。職員のための病気とケガの保険にも加入、退職金の上乗せ制度もあります。園児の出欠確認や連絡帳の入力・確認はiPadで行い、煩わしい書類仕事を減らす取り組みも実践しています。

尊敬できる先輩がいっぱい

他園の工夫を学べるシステムがある!

タブレットやPCで仕事の効率がUP

そのほかの Voices

こぢんまりとした園で全園児の名前を覚えられる

保育士に憧れる娘と一緒に働くのが夢

住宅手当は毎月3万円! 有給休暇は採用時から年14日!

れんげの 田んぼから 子どもたちへ

愛らしいれんげの花畑が 栄養たっぷりの土へと導く

今や「懐かしい」「珍しい」との声も聞かれるれんげ畑。空気中の窒素を取り込んで根に貯める性質があるれんげを肥料にすると、土壌が生まれ変わり稲が元気に育ちます。



もみを充実させるための穂肥の用具を背負う体験をした生田理事長。有機肥料は化学肥料よりも散布量が多く、暑い時期に田んぼを練り歩くのはなかなかハードです。



来年秋ごろから
給食のごはんが
れんげ米になります！

体にも環境にもやさしい
もっちり甘いお米に魅せられて

奈良県橿原市内で減農薬によるいちご栽培に夫婦で取り組む「ファーム西川」。郡山双葉会の生田理事長がこのいちごのおいしさに惹かれ、農園内のお店に通うようになったある日、「ここで栽培された、れんげ米」に出会います。れんげ米とはれんげ緑肥を使う昔ながらの農法で栽培されたお米のことで、化学肥料を必要としません。

「もっちりしていて甘みがあっておいしい。安心・安全で環境にも配慮したれんげ米を、うちの園に通う子どもたちにも食べてもらいたい」

生田理事長のこの思いにファーム西川の西川夫妻は快諾。この秋から郡山双葉会用の田んぼの土づくりがスタートし、来年2023年秋に収穫する新米から6つのことも園の給食に登場する予定です。



西川利幸さんと佳子さんご夫妻。農園内のお店では、奈良のブランドいちご・古都華とあすカルビーを用いた自家製ジェラートで一年中販売し、人気を集めています。

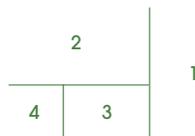
わが子の健康を考えたら
大変でもこの農法しかなかった

ファーム西川がれんげ米の栽培をはじめたのは約12年前。当時、小さなお子さんを抱えていた奥さまの西川佳子さんは「わが子の口から入るものは、体にやさしい食べ物以外考えられなかった」と振り返ります。

「安心・安全なおいしい給食をおなかいっぱい食べてほしくて」給食に用いる野菜は品質のよいものを厳選し、冷凍野菜は極力使いません。鯉節や昆布から取った天然だしにもこだわり、自然の旨みを感じられる栄養満点の料理を提供。給食を通して、おいしくて体にやさしいごはんをしっかりと食べることの大切を伝えています。
(郡山双葉会 理事長 生田宏史)

秋の稲刈り後に稲わらをすき込んでれんげの種まきをし、4月中旬から5月上旬に満開に。花が散ったらすき込み、田植えへと進め、夏に有機100%の肥料を散布します。「減農薬栽培にこだわっているため、虫がつかないように、夏場の草刈りにも力を注がなければなりません。れんげ畑を作るのも手間はかかりますが、ことも園での採用はとてもうれしい。今から子どもたちの反応が楽しみです」と、ご主人の利幸さん。

奈良県から環境にやさしい農業に取り組む農業者としてエコファーマーの認定も受けているファーム西川。「子どもたちの健やかな成長を願い、私たちが自信を持ってお届けします」と、西川夫妻は心強いメッセージを送ってくれました。保護者のみなさま、ぜひご期待ください。



- 1 リピートする人が増え、「ますます手が抜けない」と真摯に作業に取り組む利幸さん。
- 2 ファーム西川の田んぼは、ほかの農家が散布する農薬などの影響を受けにくい場所にあります。
- 3 れんげ米の品種は奈良の風土に合うヒノヒカリ。化学肥料不使用、減農薬の特別栽培米です。
- 4 一面の花畑は写真スポットにも。通りすがりの人との温かい会話も生まれているそう。

ファーム西川

奈良県橿原市観音寺町 265-2
営業時間 / 11 時頃～夕刻
不定休

<https://www.farm-nishikawa.com>

わたしたちの 食育活動

子どもたちが食べることに興味を持てるよう、郡山双葉会のすべてのこども園で食育を推進。取り組みを通して、季節感や命の尊さを実感し、協調性も育まれています。



農作物の栽培・収穫活動

鶴舞やまこども園では、園庭の畑などで子どもたちが大根やとうもろこし、オクラ、枝豆をはじめ、さまざまな野菜を栽培。毎日の水やりや観察で野菜への愛着がわき、収穫物を持ち帰ることで、家庭で食事について話すきっかけづくりも行っていきます。



クッキング体験

自分たちで育てたほうれん草を包丁で切り、フライパンでバター炒めを作ったはぐみこども園の5歳児たち。苦手だった子から「もっと食べたい」という声があがり、保護者からは「子どもがほうれん草の特徴を教えてください」との感想が寄せられました。



伝統的な食文化にふれる

地域の高齢者の協力を得て年末に実施する、やまこども園の恒例行事。餅つきの由来や道具の名前を教えてもらったあと、蒸しあがった熱々のもち米のにおいや感触を知り、大人による餅つきを応援。思い出に残るよう、子どもも杵を持ってついでます。

秋のこども園

実りの秋、郡山双葉会が運営する6つのこども園では季節の移ろいを体感できる活動が行われ、子どもたちの心身の成長が見られる行事も開かれます。過去に撮影したこの時期の写真とともに、園の様子をご紹介します。



鶴舞やまこども園

友だちと協力して力を発揮し、保護者と喜びを共有できる行事。和太鼓の音に合わせて竹を鳴らすリズム遊び・獅子の舞では、子どもたちが決めポーズを考え、衣装に絵も描きました。

運動参観



昭和こども園

4・5歳児が地域の高齢者に教えてもらって苗を植え、水やりや草引きもした園庭のいもほりは2・3歳児が担当。4・5歳児はNPO法人が管理する広い畑で大きないもを収穫して大喜び！

いもほり



やまこども園

昨年は絵本をテーマに、絵本に登場する風景や場面、世界観を表現しました。頑張って完成させた作品をよく見てほめてあげることは、子どもの豊かな感情を育み、成長につながります。

作品展



やまこども園 mimi

絵本で見ていたイガ付きの栗の現物に興味津々。イガにふれると痛いことを知り、重さを比べたり、図鑑で調べたりもしました。

見て、さわって、調べてみよう！



ふたばこども園

子どもたちがマントやキャンディ入れを作って準備し、当日は「Trick or Treat!」の掛け声で各クラスを訪問。異年齢児と積極的に交流し、相手の気持ちを考えながら行動する姿も。

ハロウィンパーティー



はぐみこども園

園庭や土手の落ち葉を集めて寝転び、やわらかい感触を味わいながら空を眺めたり、落ち葉のシャワーを浴びたり。葉が落ちた木を確かめ、葉の色や大きさの違いにも関心を寄せました。

落ち葉で遊ぼう！

社会福祉法人 郡山双葉会 理事会報告

令和4年6月9日にやまこども園において理事会を開催し、理事長 生田宏史が理事及び監事に対して理事会の決議の目的である事項についての提案を行い、当該提案について、以下のとおり理事及び監事から承認を得たことを報告します。

理事会の決議内容

第1号議案 令和3年度第3次補正予算(案)について、法人事業活動収支差額6,994万円、施設整備等資金収支差額△4,330万円、その他の活動資金収支差額(積立金を含む)△1,329万円、当期資金収支差額(予備費を含む)1,335万円が承認されました。

第2号議案 令和3年度決算(案)並びに事業報告(案)について、法人事業活動収支差額7,950万円、施設整備等資金収支差額△4,171万円、その他の活動資金収支差額(積立金を含む)△1,329万円、当期資金収支差額2,450万円並びに事業報告が承認されました。

第3号議案 給与規定の改定について、処遇改善手当に関する給与規定の改定が承認されました。

第4号議案 評議員選任・解任委員任期満了に伴う選任について、外部委員に樋口剛氏(菩提寺優愛保育園モンチ園長)、藤崎隆明氏(法人監事)、生田美穂(法人事務長の3名が承認されました。

含む)△1,329万円、当期資金収支差額2,450万円並びに事業報告が承認されました。

第5号議案 理事退任に伴う理事候補者の選任について、理事候補者に生田 治やまこども園園長が承認されました。

第6号議案 定時評議員委員会の招集について、定時評議員会を令和4年6月25日に召集することが承認されました。

第5号議案 理事退任に伴う理事候補者の選任について、理事候補者に生田 治やまこども園園長が承認されました。

第6号議案 定時評議員委員会の招集について、定時評議員会を令和4年6月25日に召集することが承認されました。

社会福祉法人 郡山双葉会 事業報告

(1)保育事業
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の第3波から第6波が流行する中、例年予定する園行事の規模の縮小や分散化を行い、子どもたちの教育・保育活動を円滑に実施することと、何よりも子どもや保護者職員の健康や安全を守ることに特に注力し、事業運営を実施しました。

また、12月中旬以降の第6波は、全国的に乳幼児の感染が急拡大し、当法人においても園児や職員に感染が広がり、休園や学級閉鎖が頻発しました。そのような厳しい状況の中、「生き生きとした子どもを目指して」の保育方針のもと、集団生活の中で一人ひとりの能力を最大限に伸ばし、豊かな人間性を持つ子どもを育成することにも、個々の乳幼児の発達に即した教育・保育を行うことができました。

利用者数の状況は、上半期は例年通り順調に推移しましたが、下半期はふたばこども園及びはぐみこども園で園長が退職したため、その対応を含め保育教諭確保を優先的に進めました。このことにより、年度後半の保育需要に対応できず、第3次補正予算において、当初の見込みより事業収入の減額を行いました。

令和4年度の保育体制については、鶴舞やまこども園、昭和こども園と園長の定年退職が重なる結果となりましたが、新園長には大和郡山市立保育園園長経験者や自園の経験豊富な保育教諭が就任し、保育教諭の確保も充足できました。令和4年度4月在籍園児数も例年通りの園児数が確保され、新年度がスタートしました。

今後の方針は、正規職員の採用とキャリアアップの仕組みによる正規職員への転換を進め、

運営の安定化を図ります。また、開園から年数が浅い鶴舞やまこども園については、園児数は増加していますが、定員まで至っていないことから、保育教諭の確保を優先的に行うとともに、内部管理体制の強化も合わせて行います。

(2)地域子育て支援センター事業
地域子育て支援センター事業については、新型コロナウイルスの感染が拡大し、休園や学級閉鎖が頻発したことから、園児や参加者の安全を最優先とし、当初計画していた事業の中止や延期を行いました。中止や延期した事業については、今後の新型コロナウイルス流行状況に注視しながら、実施または見直しを行います。

(3)一時預かり事業
一時預かり事業は、コロナ禍の対応で当初計画していた事業を一時中止し、事業中止により当初の事業計画の見直しを行いました。また、ふたばこども園ホームページの特別保育事業の申し込みページのリニューアルを行い、これまでより利便性を高め、子育て中の保護者のニーズに対応しています。

おうちでつくろう！ 秋のアート

子どもと一緒に秋を見つけにお散歩に行ったら、飾りづくりはいかが。
やまこども園mimiのみんなで木の実や枝を使って挑戦！
豊かに表現する姿が見られました。

用意するもの



- 木片 ●秋の自然素材(木の実・松ぼっくり・フウセンカズラの種など) ●木の枝
- 段ボールシート ●動く目玉シール
- カラーぼんてん ●毛糸 ●工作用接着剤
- グルーガン(接着工具) ●油性カラーペン
- 机に敷くシート など

まずは材料を手にとって観察。「この実はごはんみたい」と声があがり、本で何という植物の実なのかを調べることもしました。



グルーガンでの接着は必ず大人が行いましょう



子どもの自由な発想をほめてあげて。大人は接着時に土台を持ってあげたり、迷っているときに工夫のしかたをアドバイスしたりする程度をサポートで。



土台を選んでから、気になった素材を接着剤でつけて仕上げていきます。机をシートで覆うと後片付けがラクに。

作品展



完成後、一人ひとりが作品について「船を作りました」「お人形と扇風機です」などと発表。製作中はほかの子の様子を見て「すごい！」「私もああいうのが作りたい」と刺激を受けていました。



下間 由依莉ちゃん



池田 花ちゃん



森田 葵士くん



森 潤ちゃん



松本大晴くん



できた！



現在、社会福祉法人 郡山双葉会では一緒に働く仲間を募集しています。新卒、キャリア採用(転職・復職をご検討の方)、実習、ボランティア、施設見学の受付を行っておりますので、右記ホームページのお問い合わせフォームもしくはお電話にてお気軽にお問い合わせください。

社会福祉法人 郡山双葉会

<https://koriyamafutabakai.or.jp>

〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町 145-1 やまこども園内

採用担当：昭和こども園 副園長 木下きのした (TEL. 0743-56-0811)